

同窓生のコラム



官民協働による地域活性の取組み

「地方創生協働リーダーシッププログラム」

MICHIKARA

塩尻市役所地方創生推進課シニアプロモーション係 係長

高45回 山田 崇



「元ナンパ師」としてGoogle検索するとトップに表示される山田崇です。これから大学進学を考えている後輩たち、生まれ故郷で公務員やまちづくりに関わる若者が、いまの仕事が続けながら、やりたい自分や地域のために「小さくはじめてみる」きっかけとなれば嬉しいのです。

空き家プロジェクトnandaa 2012年4月15日スタート

塩尻市役所で20年目となったわたしは、公務員として働くかたわら「2枚目の名刺」の活動として、仲間とともに「空き家プロジェクトnandaa」を立ち上げて、組織の枠を超えたネットワークづくりにつながっています。「地域の課題は想像で解決できない」「まずは自分が当事者になってみて、現場で何が起きているのかを知る」そんな思いからの小さな行動として、

2012年4月から地元大門商店街の空き店舗を1軒借りています。

「○○なのだ」と名付けたイベントを1月に数回開催。

それぞれのイベントは、思いを持った若者が、普段の職場や学校ではできないことを、ちょっとやってみるということが実現できる、そんな企画としてはじめました。いままでに「ワインなのだ」「空き家をお掃除なのだ」「お誕生日会なのだ」など、小さくはじめてみるきっかけの場にもなっています。

昨年10月には、私の出身小学校である「塩尻西小学校」の総合的な学習として、小学3年、4年生が「西の子とおそうじなのだ」と題して、商店街の空き家を掃除して、大家さんや商店主からお話を聞く企画がはじまりました。また、小学6年生の児童たちは、nandaaを会場に「カフェ

なのだ」「だっしゅつゲームなのだ」「卒業パーティーなのだ」を開催し、地域を巻き込んだ学びの場にも活用されています。nandaaの活動も5年目となり、その活動が目目されて内閣府の地域活性化化伝道師に任命されました。また、塩尻市役所職員と首都圏大企業人材（ソフトウェア）が協働してイノベーションを起すためのプラットフォーム「MICHIKARA」がグッドデザイン賞2016を受賞するなど、仕事もとても充実しています。5年前に「小さくはじめた」ことがあるから、いまの自分があります。

最後に、5年間いつも忘れないうようにしているわたしの好きな言葉で締めくくります。「見たい時にみる、やりたいときにやる。できるようにしてからでは、すでに遅い。」

スクールオブデザイン
(誠文堂新光社) 抜粋

月刊誌「KURA」2017年4月に掲載された長野県知事との対談企画「阿部知事が行く」で「二人多役」をテーマに、最近のわたしの「仕事」と「仕事以外の活動」が記事になりました。詳しくはそちらもご覧ください。

校歌「若き我等」の誕生

高7回 桐原 俊文



昭和4年(1929)5月2日王ヶ頭の頂に人士二人の姿があった。ともに立派な口髭を蓄え丸眼鏡を掛けている。恰幅よく身の丈五尺の仁は、国文学者の高野辰之。六尺豊かな偉丈夫は県立松本第二中学校長の小松武平だ。

晴天に恵まれた今日、小松の案内で美ヶ原に登った高野は、眼下に広がる松本平や指呼の間

にある、北アルプスの連山をじっと見詰めていた。この2月、松本商業学校の校歌が高野の作詞で制定された。小松はこれを範とし同郷旧知の米沢武平校長に、高野への仲介を頼んだ。高野に送った校歌作成依頼の手紙には二中建学の理念を切々と訴えた。また松本の地誌や歴史などの資料も添えた。普段は、これら資料を参照し

セラミカ

ショップ/ギャラリー/カフェ

荒井 博 (高16回)

〒390-0874
長野県松本市大手 4-4-2 (上土通り沿い)
Tel:0263-31-3177

県陵税理士会

会長 百瀬征男(高16回)

関東信越税理士会 松本支部所属
会長以下 29名

発足以来 28年、毎年2月定期総会、研修・親睦に団結力は強く、研鑽に励んでいます。

勇屋会館

丸山庄一(高15回)三八会
丸山英樹(高43回)

〒399-8205 安曇野市豊科4480-12
TEL 0263-72-2020

予約フリーダイヤル

☎ 0120-020105